

提案基準					
		□ 4	□ 7	□ 13	□ 14
基本事項	申請者	住所			
		氏名			
	申請場所				
	敷地面積	㎡			
	用途				
	延べ面積	㎡			
敷地面積の制限		<input type="checkbox"/> 500㎡以下 <input type="checkbox"/> 500㎡超（理由：_____）			
(指定)既存集落 （提案7，(13, 14)）		<input type="checkbox"/> 申請地は既存集落内（提案7） <input type="checkbox"/> 申請地及び現住所は <u>指定既存集落内かその辺縁部（3ha内に30戸以上）</u> （提案13） <input type="checkbox"/> 申請地及び本家は <u>指定既存集落内かその辺縁部（3ha内に30戸以上）</u> （提案14）			
線引き時(S45.8.31) 又は20年居住の本家の住所 （提案4，13, 14）		<input type="checkbox"/> 現住所と同じ <input type="checkbox"/> 現住所と相違 （住所：_____）			
土地所有条件		<input type="checkbox"/> 直系尊属又はその兄弟姉妹又は申請者の兄弟姉妹若しくは自己所有 （提案4） <input type="checkbox"/> 自己所有（相続取得済） （提案7） <input type="checkbox"/> 自己所有（取得見込可） （提案13） <input type="checkbox"/> 自己所有（取得見込可） （提案14） <input type="checkbox"/> その他（_____）			
線引き時点からの世帯構成（家系図） ※別紙にて添付してください。		<div>家系図（記載例）</div> <div><pre>graph TD; A[桑名太郎] --- B[春子]; A --- C[桑名土郎]; C --- D[優希]; C --- E[桑名虎太郎]</pre></div> <p>※線引き時の土地所有者から許可後に居住する世帯まで記載すること。 ※線引き時土地所有者を二重枠、申請者を一重枠、線引き前から本家に生活の本拠を有する世帯又は線引き後、適法な住宅に20年以上居住し、現在も本拠を有する世帯を青枠、許可後の世帯を赤枠で記載すること。 ※提案基準14の場合、現在の土地所有者を二重枠とする。</p>			
添付図書		<input type="checkbox"/> 住民票、戸籍謄本等（現在の世帯、本家の世帯等線引き時点からの関係がわかるもの） <input type="checkbox"/> 申請地の位置図、公図の写し、土地登記事項証明書の写し <input type="checkbox"/> 理由書 <input type="checkbox"/> 建築図面（平面図、立面図） <input type="checkbox"/> 現在住宅の間取り図、賃貸借契約書の写し等（提案13）			

市街化調整区域における自己用住宅・世帯の独立のための住宅の取扱いについて	
個別条件 提案基準4 ・分家住宅	<input type="checkbox"/> 線引き前から、当該市街化調整区域において引き続き生活の本拠を有する世帯又は線引き後、当該市街化調整区域において適法な住宅に20年以上居住し、引き続き生活の本拠を有する世帯の世帯構成員、又はその直系であること。 <input type="checkbox"/> 線引き前より市街化区域に生活の本拠を有する世帯から、辺縁部の市街化調整区域に独立する場合は、独立世帯が元世帯と近接した位置（概ね2km以内）であり、かつ申請者本人、申請者の両親及び独立後の世帯構成員が、市街化区域内に世帯独立に適した土地を保有していないこと。（名寄帳又は固定資産課税台帳記載事項証明書） <input type="checkbox"/> 結婚、過密、狭小その他社会通念に照らし独立して世帯を構成すべき事情が存すること。（理由書） <input type="checkbox"/> 申請地は、線引き前から引き続いて申請者の直系尊属又はその兄弟姉妹若しくは申請者の兄弟姉妹が所有している土地であること、又はそれを申請者が線引き後に取得した土地であること。
提案基準7 ・自己用住宅	<input type="checkbox"/> 申請地は、線引き前より、許可申請者が保有している土地（保有していた者から相続により取得した土地を含む。）であること。 <input type="checkbox"/> 現在居住している住居が過密、狭小、被災、立退き、借家等の事情のため新規に建築する必要がある者、定年、退職、卒業等の事情のため新規に新築する必要がある者、その他社会通念に照らし、特に新規に建築する必要がある者であること。（理由書） <input type="checkbox"/> 予定建築物の階数は2以下であること。
提案基準13 ・自己用住宅	<input type="checkbox"/> 線引き前から当該指定既存集落に生活の本拠を有する者であること。（収用移転は可） <input type="checkbox"/> 申請者及びその家族構成員が当該都市計画の市街化区域に宅地等を保有していないこと。（建築基準法第48条により建築できない用途地域については、可） <input type="checkbox"/> 現在居住している住居が過密、狭小、被災、立退き、借家その他社会通念に照らし特に新規に建築する必要がある者であること。（理由書） <input type="checkbox"/> 予定建築物の最高の高さ10m以下、建蔽率10分の6以下、容積率10分の10以下であること。 <input type="checkbox"/> 申請地は、本家と同一の指定既存集落内又はその辺縁部（3ha内に30戸以上）にあること。
提案基準14 ・分家住宅	<input type="checkbox"/> 線引き時点で生活の本拠を有した世帯又は線引き後、適法な住宅に20年以上居住し、引き続き生活の本拠を有する世帯の世帯構成員又はその直系であること。（収用移転は可） <input type="checkbox"/> 申請者本人、申請者の両親及び独立後の世帯構成員が、当該都市計画の市街化区域に世帯独立に適した土地を保有していないこと。（名寄帳又は固定資産課税台帳記載事項証明書） <input type="checkbox"/> 結婚、過密、狭小その他社会通念に照らし独立して世帯を構成すべき事情が存すること。（理由書） <input type="checkbox"/> 予定建築物の最高の高さ10m以下、建蔽率10分の6以下、容積率10分の10以下であること。 <input type="checkbox"/> 申請地は、本家と同一の指定既存集落内又はその辺縁部（3ha内に30戸以上）にあること。
備考	
・ □ にチェックを入れてください。 ・ 主な添付資料について、以下で取得可能です。 名寄帳（税務課）、固定資産課税台帳記載事項証明書（税務課）、住民票及び戸籍謄本等（戸籍・住民登録課） ・ 指定既存集落の辺縁部の考え方については桑名市のHPを参照してください。	